

平成 29 年度事業報告

I 事業総括

当財団は、サンスターグループの社是「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」に寄与すべく、平成 29 年度の事業計画に従って、以下の事業を推進しました。

1. 人々の健康増進の実現と健康経営の実践

移転 3 年目を迎える附属千里歯科診療所は、移転規模拡張と同様の 1.5 倍の過去最高の診療収入約 3 億円を達成しました。診療効率を最大化する事と、医療サービスの質を向上し、診療所スタッフの行動指針「クレド」の導入をおこないました。また従来から実施している、親子や高齢の患者様を対象にした歯科セミナー実施に加え、本年度は患者様データの臨床研究活用や、海外 KOL への技術指導を行うなど新たな取り組みも行いました。一方、歯科健診事業については、大手 4 健保の歯科健診の中止など厳しい状況の中でその実施数は昨年を大きく下回る結果となりました。社員の健康管理を行う健康推進事業については、本年度 2 月に経済産業省から「健康経営優良法人～ホワイト 500～」の認定を受けるなど、サンスターグループの健康経営の取組みが評価され、企業価値の向上に貢献できました。

2. 財団のチーム力を結集し、財団の自立とサンスターグループの支援をおこなう

本年度は事業会社のアジア展開をサポートのため、財団の歯科衛生士が出向き、マレーシア日本人学校では生徒、父兄、学校の先生を対象に歯科セミナーや歯科保健指導を実施し、シンガポール日本人会では健康道場とコラボして個別相談会やセミナーを実施しました。また、サンスター上海(SHA)から依頼を受け、上海の病院及び歯科医院の KOL (デンタルナース) の技術指導を行いました。

3. 財団の新しい取組み及び事業展開を拡大する

土室心身健康道場において、事業会社と連携し一般のお客様を対象に「日帰り健康道場プログラム研修」の検証をスタートしました。今後、検証を踏まえて顧客のニーズを把握しプログラムの品質向上につとめ、新たな健康道場の事業の軸として展開して参ります。その他、歯科分野では、予防と臨床が一緒になって歯科衛生士のリカレント教育事業プログラムの検討を開始しました。こちらも 2018 年に検証をおこない、教育事業の柱として事業化を目指します。

財務面では、上記の事業活動により経常収益で 694,123 千円(計画 745,003 千円)、経常費用 689,074 千円(計画 743,908 千円)、当期経常増減額(税引前)は 5,049 千円(計画 1,095 千円)となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	745,003	694,123	▲ 50,880	645,329
経常費用	743,908	689,074	▲ 54,834	625,987
当期経常増減額(税引前)	1,095	5,049	3,954	19,342

II 事業報告

1. 学術講演事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演）

全世界で21回目となる「糖尿病、口腔ケアと栄養の推進セミナー」を平成29年12月8日(金)に中国上海で開催いたしました。糖尿病合併症の最新情報や遺伝子と歯周病菌の作用に関する研究を含むセミナーやパネルディスカッションが実施されました。参加者は、アジア全域から医師・歯科医師等で420名におよび、中国をはじめアジア各国で糖尿病患者が増える中、情報発信を行いました。

さらに、高槻市民の「健康度」と「幸福度」の向上を図ることを目的に平成29年11月19日(日)に、高槻現代劇場にて第1回高槻市民いきいき健康講座「元気なからだはお口の健康から～いつまでも美味しいものを自分のお口で～」を開催しました。

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、経常収益4,500千円、経常費用6,151千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲1,651千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	13,500	4,500	▲ 9,000	24,733
経常費用	15,651	6,151	▲ 9,500	25,590
当期経常増減額（税引前）	▲ 2,151	▲ 1,651	500	▲ 856

2. 助成事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動）

(1) 金田博夫研究助成基金平成29年度海外留学受給者は、医師、歯科医師各1名となりました。

平成21年度から開始しました同研究助成では、すでに12名の受給者のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しておりますが、9年目となる本年度は、下記の留学の助成を決定しました（五十音順）。

◆平成29年度受給者(2名)

歯科医師 辻 忠孝 (38歳)
所 属 大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第一教室
研究課題* 口腔化学感覚が褐色脂肪組織へ与える影響と匂いを用いた肥満症戦略の考案

医 師 長尾 博文 (33歳)
所 属 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学
研究課題* 肥満脂肪組織における新たな代謝異常病態の解明

*研究課題は応募時のものです。

従来の募集案内の専門雑誌掲載に加えて、財団ホームページのアクセスも増加し、認知拡大に努めました。

*** (参考) 金田博夫研究助成基金 (海外留学助成規程)**

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成21年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費(2年間合計/11万ドル+100万円)を支給する。
なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

(<http://www.sunstar-foundation.org/aid/historical/>)

(2) 同基金のサポートによる対外発表

小塚智沙代氏(琉球大学大学院医学研究)の研究成果が糖尿病学会エビジェネティクス研究会[1]で、また新城尊徳氏(九州大学大学院歯学研究院)の研究成果が、米国歯周病学会学術大会[2]にて発表されました。新城氏は、同学術大会にて、Basic Science部門で最優秀演題となり、Poster Session Awardを受賞されました。小塚氏は、留学体験記を日本の科学雑誌に投稿されました[3]。

[1] BROMODOMAIN-CONTAINING PROTEINS PLAY A PIVOTAL ROLE IN GLUCOSE METABOLISM IN MICE

C. Kozuka¹, V. Sales¹, Y. Yuchi¹, S. Osataphan¹, J. Desmond, C. Mulla², C. Smith, J. Qi³,
J. Dreyfuss¹, H. Pan, M.E. Patti¹

¹Joslin Diabetes Center, Boston, MA

²Joslin Diabetes Center, Harvard Medical Center, Boston, MA

³Dana-Farber Cancer Institute, Boston, MA

米国糖尿病学会エビゲネティクス研究会(2017年)

[2] Depletion of Insulin receptor beta in gingiva exacerbates alveolar bone loss in mice model of experimental periodontitis

Takanori Shinjo¹, Atsushi Ishikado¹, Park Kyoungmin¹, Qian Li¹, Ronald St-Louis¹,
Hisashi Yokomizo¹, Vanessa Alves², Alpdogan Kantarci², Thomas E Van Dyke², George L King¹

¹Section on Vascular Cell Biology, Research Division, Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School, Boston, MA 02215, USA

²Department of Applied Oral Sciences, The Forsyth Institute, Boston, MA 02142

米国歯周病学会(2017年)

[3] Lab report

小塚智沙代 ジョスリン糖尿病センター

実験医学 p2307-2309 Vol15 No.13, 2017

(3) 公益社団法人 日本歯科衛生士会主催学術賞 (サンスター財団賞) に協賛しました。

本年度は、優秀賞1名、奨励賞3名が授賞しました。

- ・優秀賞 山中 沙都 : 周術期患者における術後口腔保健行動に及ぼすと推測された術前口腔ケア介入の効果

- ・奨励賞 板木 咲子 : 指定介護療養型医療施設および介護老人保健施設における
要介護高齢者の口腔清掃の現状と課題
- 米澤 大輔 : 知的障害者における歯の喪失状況および義歯使用と日常生活
動作との関連
- 大岩 直子 : クロイツフェルト・ヤコブ病3症例の口腔ケアの経験

*** (参考) 日本歯科衛生士会学術賞**

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成18年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞(サンスター財団賞)と学術発表賞(ライオン歯科衛生研究所賞)があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金等収入28,200千円、留学助成金、選考委員会運営費用などの経常費用29,603千円、当期経常増減額(税引前営業利益)は▲1,403千円となりました。

■事業収支実績 (単位:千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	30,000	28,200	▲ 1,800	24,733
経常費用	32,287	29,603	▲ 2,684	25,590
当期経常増減額(税引前)	▲ 2,287	▲ 1,403	884	▲ 856

3. 調査研究事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究)

日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会、日本口腔インプラント学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に、附属千里歯科診療所歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、学会や講習会で講演を行いました。(その他活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)～(5)」を参照)。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、経常収益1,000千円、経常費用7,242千円、当期経常増減額(税引前営業利益)は▲6,741千円となりました。

■事業収支実績 (単位:千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	0	1,000	1,000	0
経常費用	6,977	7,741	764	7,242
当期経常増減額(税引前)	▲ 6,977	▲6,741	236	▲ 7,242

4. 臨床教育事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育）

神戸常盤短期大学、太成学院大学、大阪歯科学院専門学校、なにわ歯科衛生専門学校からの実習生および、神戸常盤短期大学のリカレント教育キャリアアッププログラム実習生の計 17 名に対し、のべ 120 日間の臨地教育を行いました。

以上の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 130 千円、経常費用 10,135 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲ 10,005 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	0	130	130	140
事 業 費 用	9,723	10,135	412	11,323
当期経常増減額(税引前)	▲ 9,723	▲ 10,005	▲ 282	▲ 11,183

5. 歯科健診・保健指導事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑤歯科健診保健指導）

予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は活動件数 602 件、79,519 人でした（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照）。

(1) 産業歯科健診保健活動

本年度の歯科健診事業は JFE 健康保険組合、電設工業健康保険組合、静岡県市町村職員共済組合などの新規獲得がありました。東京都報道事業健康保険組合、国際自動車健康保険組合など 4 健保が中止となり、29 健保、合計 27,278 人（前年比▲11,741 人）を対象に実施しました。

歯科に関する問診の回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、具体的な保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない新たな歯科健診」（お口ケア 30days トライアル）は、新たに 2 団体を受諾し、4 団体 6,346 人（前年比+4,218 人）に対し実施しました。歯科健診と歯科保健指導は合計で 109,328 千円の事業収入となりました。

(2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

「健康日本 21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携した歯科保健啓発活動をサンスター株式会社からの業務委託により全国を対象に 216 件、24,594 人に実施しました。（前年比+27 件、+3,846 人）。大手量販店、ドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れを対象に、歯科口腔保健の重要性、歯周病と全身疾患との関わり等を中心に、正しい歯科保健指導を 138 件・21,369 人に実施しました。また、大手量販店、ドラッグストア・ホームセンター等の新入社員等にセミナーを実施しました。

サンスター株式会社と神奈川県との「未病対策の推進に関する連携協定」の活動として 5 件、140 人へオーラルケアセミナーを実施しました。また病院の職員や糖尿病患者へのオーラルケアのセミナーを実施しました。

海外活動としてシンガポール日本人会において親子へのオーラルケアセミナーと個別歯科相談を行いました。

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科保健指導等を年齢に合わせた指導メニューにより、全国 185 件、21,301 人を対象に実施しました（前年 184 件、20,708 人）。

サンスター株式会社の地域住民への貢献活動として、①高槻市教育委員会との連携による高槻市内小学校 3 年生、中学生 3 年生を対象とした歯科保健指導、②大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内の小学校でのフッ素塗布、③東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校 3 年生、5 年生、中学校 1 年生を対象とした歯科保健指導とフッ化物洗口指導、④東近江市学校保健会の事業に参画し、東近江市の中学校に歯科保健指導を行いました。以上により小学校 114 校、9,515 人、中学校 37 校、4,978 人の啓発活動を行いました。⑤近畿エリアの幼稚園・保育園の園児に対して紙芝居等の教材を用いた歯科保健指導を 32 校、6,184 人、養護学校への歯科保健指導を 1 校、24 人に啓発活動を行いました。⑥海外活動としてマレーシア日本人学校の小学生 1 年生～6 年生約 600 名および教員や保護者へ歯科保健指導を行いました。

(4) 妊産婦および乳幼児と自閉症児に対する歯科保健活動

妊産婦、乳幼児の歯科保健の向上を目的に産婦人科医と歯科医師が協同で製作した啓発冊子を本年も継続して斡旋しました。斡旋開始（2006 年）から、のべ 18,665 冊を提供しました。

障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し製作した自閉症のお子様への歯科保健指導教材の斡旋を継続して実施しました。指導教材の斡旋開始（2007 年）から絵カード 683 組、動画 669 本を提供してきました。

以上の活動の結果、歯科健診保健指導事業における事業収支は、事業収益が 174,375 千円、経常費用 160,763 千円、当期経常増減額（税引前利益）は 13,612 千円となりました。

■ 事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	215,200	174,375	▲ 40,825	202,860
事 業 費 用	195,884	160,763	▲ 35,121	172,563
当期経常増減額（税引前）	19,316	13,612	▲ 5,704	30,297

6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）

(1) 歯科診療

本年度の総受診者数は 29,570 人、そのうち新患者数は 1,275 人と、昨年度と比較し、新患者数は微減したものの総受診者数は約 1,000 人増となりました（平成 28 年度は総受診者 28,546 人、新患者数 1,316 人）。その結果、歯科診療収入は過去最高の 299,804 千円（平成 28 年度は 259,460 千円）となりました。また、本年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ 116 人の 1 型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。

(2) 研究委託

サンスター事業会社が開発中の製品に対する臨床評価、電子カルテを活用した研究テーマに関する臨床データの提供、また休診日の診療スペースを研究部門に提供するなどを行いました。また新たな業務として、サンスター上海(SHA)からの依頼を受け、上海の歯科医院への技術指導を請け負い

ました。その結果、業務委託収入は昨年度の実績（7,133千円）を大きく上回り、9,679千円の実績を得ました。

(3) 商品販売

千里診療所での患者様向け窓口商品販売では、昨年度同様、商品展示スペースや待合室ディスプレイを活用した商品紹介を常時行うとともに、受付・歯科衛生士が連動し、受診者に歯ブラシ処方箋を提供するなどの取り組みにより、7,194千円（昨年度6,382千円）となりました。

以上の活動の結果、歯科診療事業の事業収支は、318,307千円の事業収益に対し、経常費用286,633千円、当期経常増減額（税引前利益）は31,674千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	303,460	318,307	14,847	275,182
事 業 費 用	278,285	286,633	8,348	250,278
当期経常増減額（税引前）	25,175	31,674	6,499	24,904

7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、官公庁の保健事業の見直しや、薬品卸流通への移行が多く、本年度の予算とは大きく下回り事業収支は4,759千円の事業収益となりました。仕入原価等の経常費用4,512千円、当期経常増減額（税引前利益）は248千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	13,000	4,759	▲ 8,241	5,523
事 業 費 用	7,801	4,512	▲ 3,289	5,360
当期経常増減額（税引前）	5,199	248	▲ 4,951	163

8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

本年5月に本部間接部門の移転に伴い、大阪市内に300人強の新しい拠点が誕生しました。健康推進室診療所のスタッフも新しいオフィスへ移動し、保健師4人体制により以前より充実した保健指導が行えるようになりました。また、測定機器の導入により、定期健診後の要経過観察の必要な社員に対して、半年後のフォロー検査の後にも希望者には、血糖値やLDLコレステロールや中性脂肪なども測定し、保健指導後の対策実施効果が測定できるようになりました。

(1) 事業会社とのコラボヘルスの実施

本年2月に経済産業省より認定頂きました「健康経営ホワイト500」により、サンスターグループの健康経営の取組が認められ、社会的な企業価値の向上に貢献できました。今後は、より一層、「健康経営」「健康寿命の延伸」に資する健康管理のあり方を追求して行きたいと存じます。

(2) 健康保険組合とのコラボヘルスの実施

本年4月より、サンスター健康保険組合の委託を受け、サンスター財団にて心身健康道場の運営を進めて参りました。新たに管理栄養士を採用し、栄養指導の充実に努め、新入社員研修や節目研修や特定保健指導など玄米菜食と運動を組合わせた指導により、心身健康道場の神髄を体験できる機会を創出できました。

(3) 土室心身健康道場を活用したエビデンスの取得

京都大学との共同研究の推進により、宿泊型保健指導支援事業のエビデンス取得にまい進し、学会発表や論文投稿できるレベルまで付加価値を付けることができました。以上の活動の結果、健康推進事業の事業収支は、サンスターグループ各社及びサンスター健康保険組合からの業務委託収入146,796千円、産業医・産業精神衛生医や保健師の経常費用123,348千円、当期経常増減額（税引前利益）は23,448千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	157,909	146,796	▲ 11,113	119,808
事 業 費 用	134,234	123,348	▲ 10,886	93,840
当期経常増減額（税引前）	23,675	23,448	▲ 227	25,968

9. 法人会計（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計）

理事会・評議員会等の開催

・平成 29 年度 第 1 回理事会

開催日：平成 29 年 3 月 4 日（土）

開催場所：サンスター株式会社内 会議室 スカイホール

決議事項：平成 28 年度事業報告についての承認、

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、

財団役員（理事及び監事）の任期満了に伴う改選についての承認

定款の一部変更についての承認

平成 29 年度定時評議員会招集についての承認

出席：理事 11 名（総数 13 名）、監事 1 名（総数 2 名）他

・平成 29 年度 定時評議員会

開催日：平成 29 年 3 月 25 日（土）

開催場所：ホテルグランヴィア大阪

決議事項：平成 28 年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認

財団役員（理事及び監事）の選任についての承認

定款の一部変更についての承認

報告事項：平成 27 年度事業報告

財団およびサンスターグループ間接部門の移転について

健康経営優良法人 ホワイト 500 認定取得について

出席：評議員 5 名（総数 6 名）、監事 1 名（総数 2 名）、理事会側から理事長他

・平成 29 年度 第 2 回理事会

開催日：平成 29 年 3 月 31 日（金） 決議の省略による開催

決議事項：理事長(代表理事)、専務理事(業務執行理事)の選定についての承認

・平成 29 年度 第 3 回理事会

開催日：平成 29 年 11 月 23 日（木）

開催場所： ホテルグランヴィア京都

決議事項： 金田博夫研究助成基金「平成 29 年度海外留学助成金給付者」の承認、
平成 30 年度事業計画についての承認

財団役員(理事)の一名追加についての承認

定款の一部変更についての承認

決議の省略の方法による評議員会の招集についての承認

出席：理事 11 名（総数 14 名）、監事 3 名（総数 3 名）他

・平成 29 年度 第 2 回評議員会

開催日：平成 29 年 12 月 4 日（月） 決議の省略による開催

決議事項： 財団役員(理事)の一名追加についての承認

定款の一部変更についての承認

・平成 29 年度 第 4 回理事会

開催日：平成 29 年 12 月 11 日（月） 決議の省略による開催

決議事項：会長、理事長(代表理事)の選定についての承認

法人会計収支は、16,056 千円の寄付金等収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等 60,188 千円の管理費を計上。当期経常増減額(税引前営業利益)は▲44,378 千円となりました。

■法人会計収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
受 取 寄 付 金 他	11,934	16,056	4,122	17,083
管 理 費	63,068	60,188	▲ 2,880	58,768
当期経常増減額(税引前)	▲ 51,134	▲ 44,132	7,002	▲ 41,685

Ⅲ 補助金・寄付金収入

1. 補助金

大阪府より障がい者歯科診療補助金 889 千円を交付されました。

2. 寄付金

下記団体および個人より合計 47,195 千円 の寄付金を受け取りました。

・サンスター株式会社	27,300 千円
・STARLECS 株式会社	15,000 千円
・Sunstar Suisse S.A.	4,500 千円
・個人	395 千円

■当財団人員数(平成 29 年 12 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防 事業部	健康 推進室	事務局	合計
歯科医師	5 人				5 人
歯科衛生士	18 人	13 人	1 人		32 人
保健師			3 人		3 人
事務職他	3 人	1 人	3 人	6 人	13 人
合計	26 人	14 人	7 人	6 人	53 人

IV 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	197 事業所	27,278 人
②団体での通信講座による歯科健診・保健指導	4 件	6,346 人
	計 201 件	計 33,624 人

(2) 8020 運動啓発等の歯科保健活動

①量販店顧客での個別および集団歯科保健指導	138 件	21,369 人
②地域・保健所・歯科医師会等での歯科保健指導	17 件	1,681 人
③企業での歯科保健指導	21 件	843 人
④得意先・イベント等での歯科保健指導	28 件	1,565 人
⑤社内行事等における歯科保健指導	14 件	363 人
⑥病院職員・患者様向け歯科保健指導	2 件	49 人
	計 216 件	計 24,594 人

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯科保健指導	32 園	6,184 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	152 校	15,093 人
③心身障がい児(者)施設における歯科保健指導	1 件	24 人
	計 185 件	計 21,301 人

(4) 主な研究発表・講演

6 月	新大阪歯科衛生士専門学校(大阪)	福池
7 月	マレーシア日本人学校・シンガポール日本人会	茨木・八木・安田
9 月	日本歯科審美学会第 28 回学術大会(富山)	鈴木
10 月	日本歯科衛生士会糖尿病予防認定歯科衛生士セミナー(徳島)	福池
10 月	中国デンタルナース向けセミナー(杭州・上海)	福池・津崎
11 月	日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会(大阪)	茨木
12 月	日本口腔インプラント学会近畿北陸支部学術大会(滋賀)	鈴木
12 月	J S D E I 上海企業ブース	福池・野田・武藤

(5) 主な学会・講演会参加

4 月	日本臨床歯周病学会関西支部(大阪)	鈴木・福池・茨木
5 月	日本歯周病学会(福岡)	野田・吉村・岡田

6月	日本小児歯科学会（北九州）	宮本・茨木
	日本保存歯科学会（青森）	三宅
	日本老年歯科学会（名古屋）	福池・津崎
	日本臨床歯周病学会（大阪）	鈴木・福池・茨木
	日本補綴歯科学会（横浜）	鈴木・土井
	日本医療機器学会（横浜）	野田
	日本糖尿病療養指導士学術集会（京都）	福池・野田
7月	糖尿病コーチングセミナー（京都）	福池
9月	日本歯科審美学会（富山）	茨木・鈴木
	日本摂食嚥下リハビリテーション学会（千葉）	土井・福池
	日本歯科衛生士学会	福池・野田・西田
	日本糖尿病協会カンパセーションマップトレーニング講習会（神戸）	福池・野田
10月	日本歯科保存学会（盛岡）	三宅
11月	日本糖尿病学会近畿大会（大阪）	福池・野田・岡田
	日本臨床歯周病学会関西支部（大阪）	鈴木・福池・野田・茨木・徳岡・津崎・西田・近藤・松崎
12月	日本口腔インプラント学会近畿北陸支部（滋賀）	鈴木・吉村・岡田
	日本歯周病学会（京都）	福池・野田・茨木・吉村・岡田・西田

以上